

# 知財金融促進事業の概要

(中小企業知財経営支援金融機能活用促進事業)

令和2年3月4日

特許庁総務部普及支援課

赤穂 州一郎

ヒト、モノ、カネの  
多様な課題

知財意識の  
低さ

課題：中小企業の国内外での  
知財活用は不十分

海外展開の  
必要性

要因①

知財に関する意識が低く、  
自社のもつ知的財産を権利化しない  
(知財活用途上型)

要因②

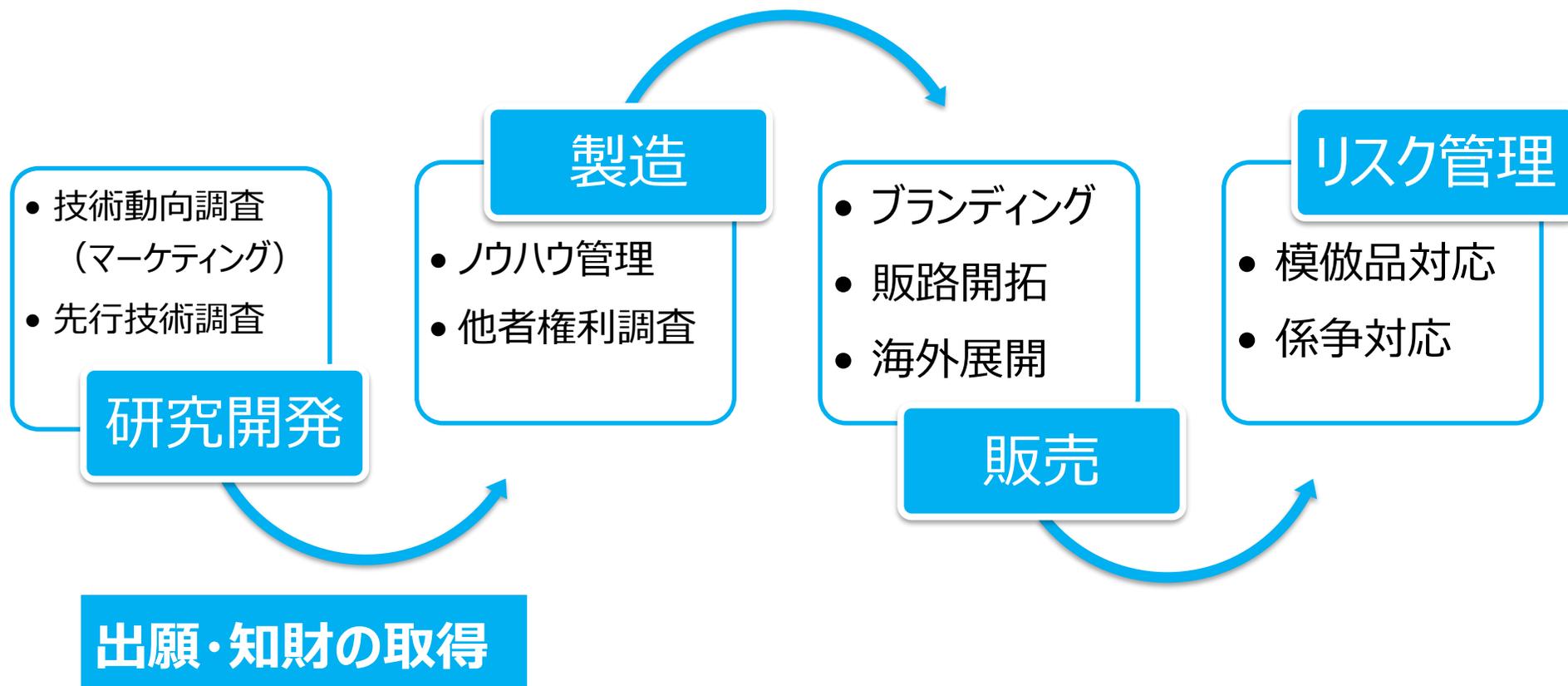
保有する知財を活用して  
ビジネスに活かすための後押しが不十分  
(知財活用挑戦型)

要因③

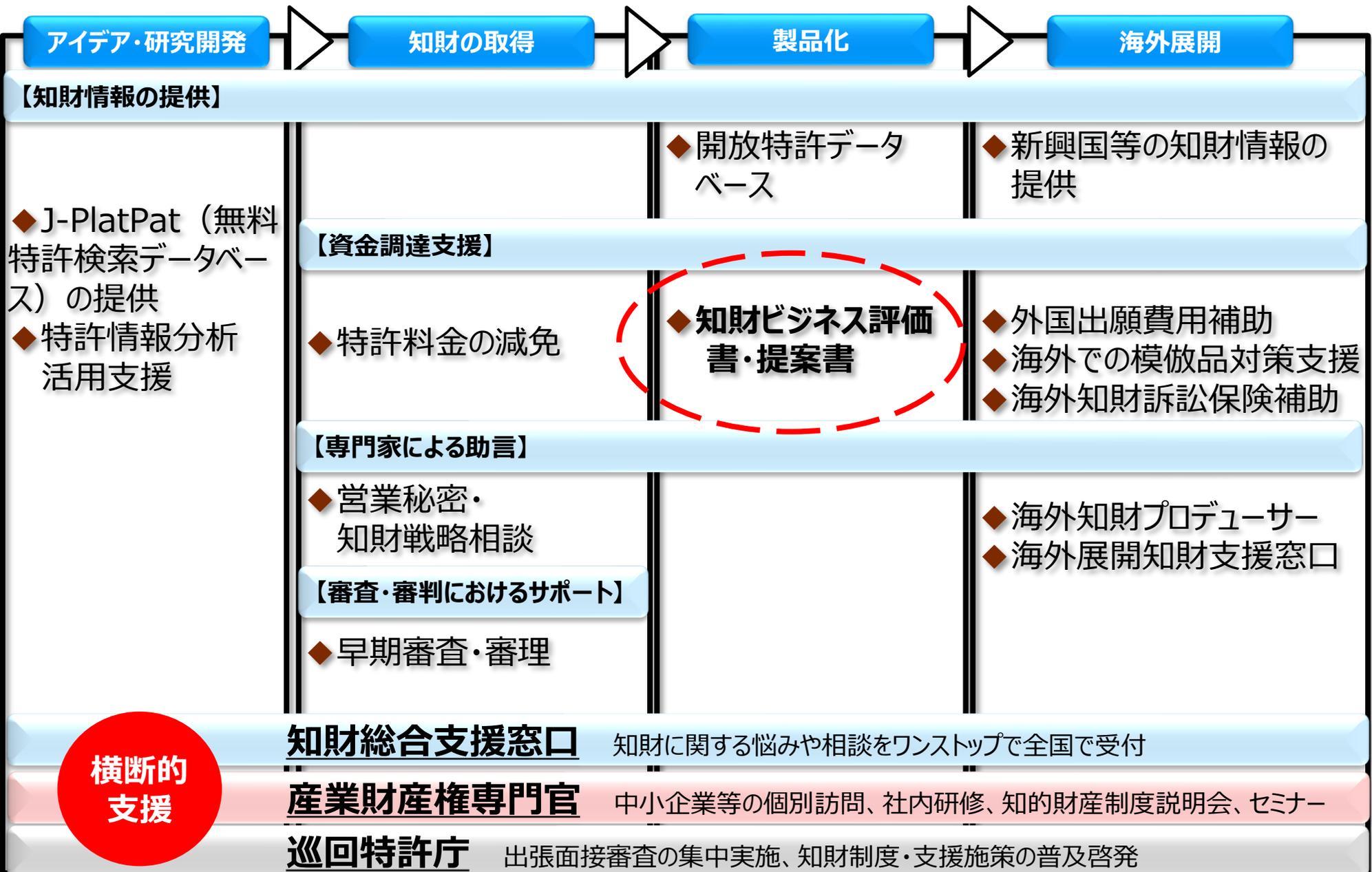
地域の知財相談窓口がわからない  
(共通)



知的財産にかかる情報提供や研修、人材面・資金面での支援を通じて、中小企業が効果的に知的財産戦略を立案し、実行できる環境を整備することが重要



# 中小企業の各事業フェーズにおける支援施策俯瞰図（一部）



# 知的財産の役割

**知財 × 融資**

**知財 × 事業性理解**

**知財 × 本業支援**

**知財（知的財産）とは…**

# 知的財産とは？

## 特許権

- リチウムイオン電池に関する発明
- 画面操作インターフェイス（ズーム・回転等）に関する発明
- ゲームプログラムの発明

## 実用新案権

- 電話機の構造に関する考案
- ボタンの配置や構造に関する考案

## 意匠権

- 美しく握りやすい曲面が施された携帯電話機的设计
- 携帯電話機の操作に用いる画面デザイン



## 商標権

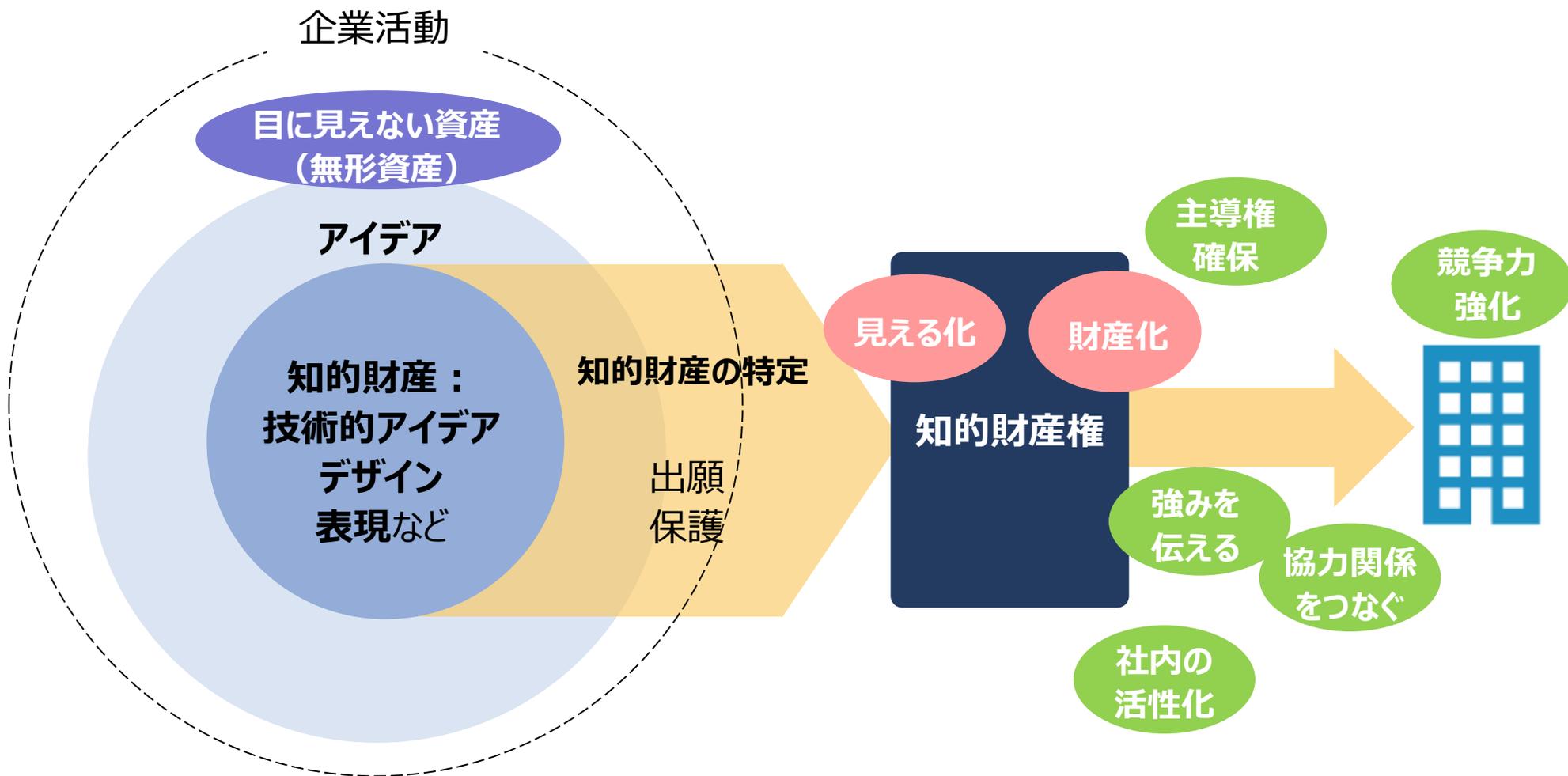
- 電話機メーカーやキャリア各社が自社製品の信用保持のために製品や包装に表示するマーク

## 著作権

- キャラクター、ゲーム、音楽などの創作（表現）

# 企業の強みとなる知的財産

- アイデアやデザイン等を明確化する事によって、目に見えない資産を「見える化」「財産化」する事ができる。
- その結果、「社内の活性化」や交渉時の「主導権の確保」など様々な効果が期待できる。



# 中小企業が知財を活用するメリット

- ビジネスにおいて知財活動のメリットは様々。模倣品の参入を防止するといった直接的な効果だけでなく、自社の技術力の高さの客観的証明、他社へのPRにも活用することができる。

## ビジネスにおける知的財産活動のメリット

### 1. 有利な事業展開

- 他社へのライセンスによる販路開拓の拡大が期待できる。
- 権利侵害に対して法的措置を講ずることができる。



### 2. 自社ブランドの構築

- 顧客に対する自社製品等の信用性が高められる。
- 対外的にPRすることができる。



### 3. 社員のモチベーションの向上

- 開発成果を「特許」というものさしで、客観的な評価を得ることができ、研究者の自信にもつながる。
- 報奨制度や表彰制度の充実により、研究者のやる気を引き出すことができる。

企業を知財の観点から見ることで、「売上の源泉となっている強み」、「将来の成長を支える製品競争力」、「製品競争力の根拠となる開発体制や権利」について理解を深め、「経営者とのコミュニケーション」、「企業の将来性や経営ニーズの理解」、「金融機関としてのソリューション提案」といった業務活動に活用することが期待される。

## 知財を通じて顧客企業に関して理解できること（一例）

売上の源泉となっている強み

技術、デザイン性、名称・ロゴが、製品の強みとして現在の売上にどれほど貢献しているか？

将来の成長を支える  
製品競争力

現製品／開発中の製品の技術、デザイン性、名称・ロゴは、将来的な成長を支える上での製品競争力を有するか？

製品競争力の根拠となる開発  
体制、権利

製品競争力を支える開発体制や知財の権利はどうなっているか？

**知的財産 = 企業の強み・魅力・特徴**

**知財**は事業の理解を深めるために  
必要な視点であり、切り口。

# 知財金融促進事業について

## 知財ビジネス評価書のイメージ例



この会社がどんな特許や技術で儲けているのかが判る! 今後も事業の見通しが判る!

### 企業概要

○○○株式会社  
○県○市1-2  
○年○月○日創設  
資本金 ○○万円  
従業員 ○○人  
取引先 ○○○  
○○○

評価対象企業  
の基本情報

### 知財を活用した製品

○○○  
○○○  
○○○



技術解説  
○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○  
○

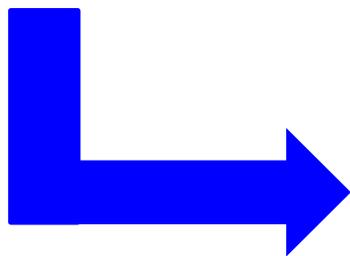
製品に関する  
技術を解説

### 市場・競合

市場規模(国内・海外)  
○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○

### SWOT分析


事業の成長性、  
企業の課題など

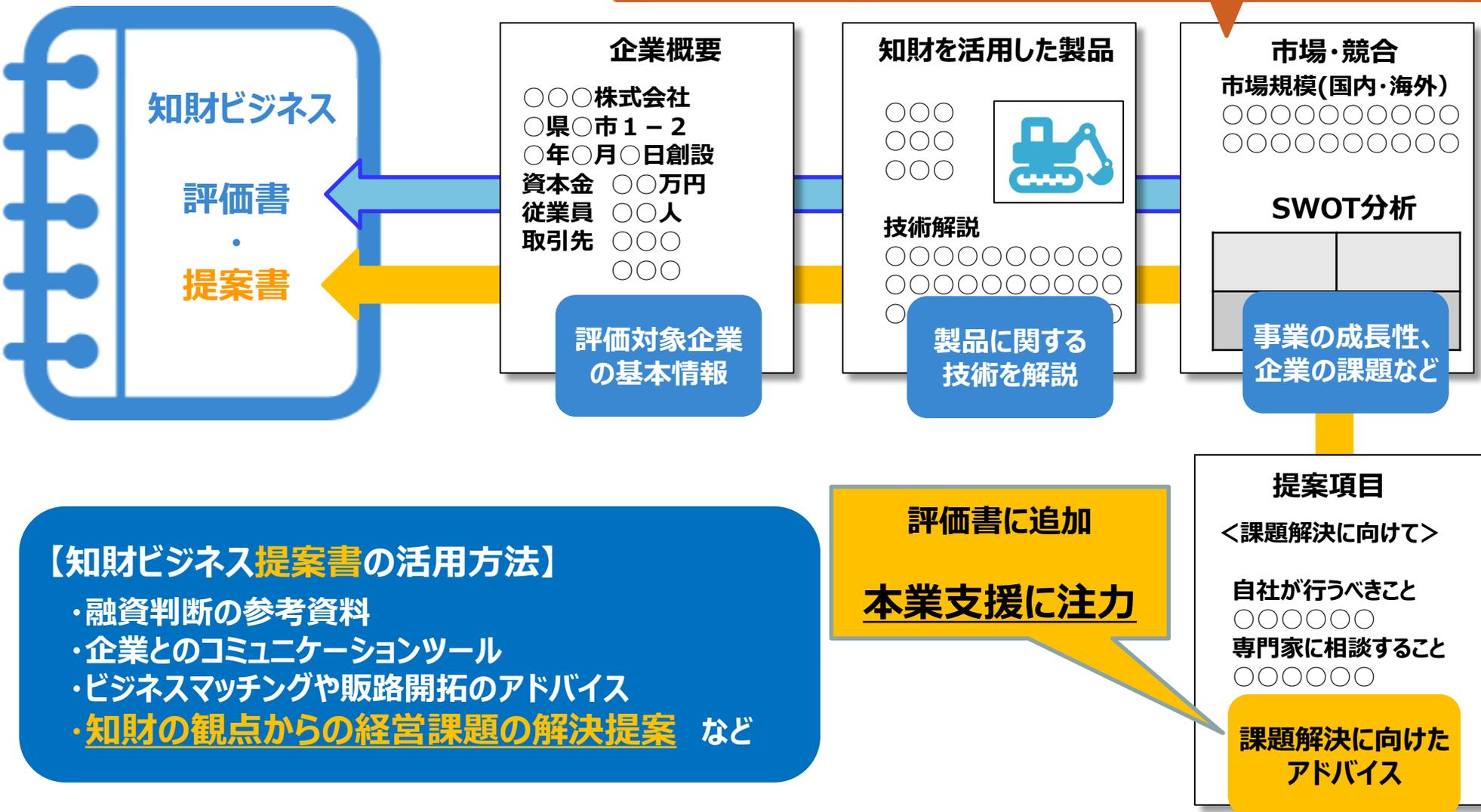


地域金融機関

## 【知財ビジネス評価書の活用方法】

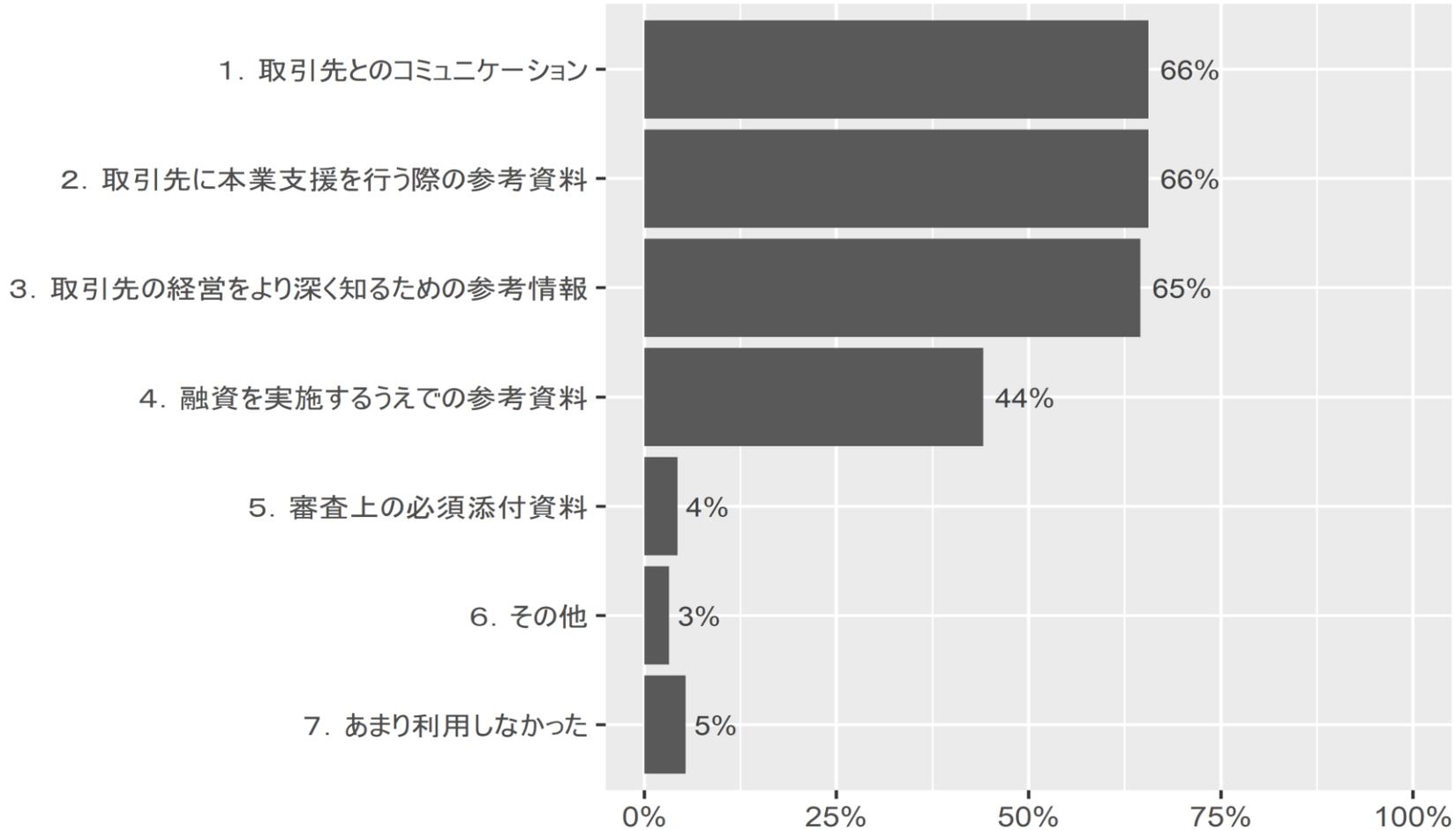
- ・融資判断の参考資料
- ・企業とのコミュニケーションツール
- ・ビジネスマッチングや販路開拓のアドバイス など

この会社がどんな特許や技術で儲けているのかが判る! 今後も事業の見通しが判る!



# 知財ビジネス評価書の利用者の声 (令和元年度アンケートより)

# 取得した知財ビジネス評価書をどのように利用？



- 金融機関から知財の話題があったことに対し、驚いている取引先は多い。
- 知財ビジネス評価書を提出したことで取引先からの評価が高まり、相談業務が増えた。  
**(取引先からの評価・信頼の向上)**
- 知財を切り口の1つとして加えることで、銀行を顧客とのコミュニケーションが深まった。  
**(取引先とのコミュニケーションツール)**
- 企業の技術力等を客観的に知ることは、中長期的な事業展開を推進する上で有益。
- 企業の今後の経営の展開への考え方を新たな角度で取り組める。  
**(取引先の客観的評価)**
- 知財ビジネスマッチング事業に繋がり、新商品の開発に着手した。
- 企業の知的財産の価値が分かり、他企業との交渉がしやすくなった。  
**(取引先の技術開発力・交渉力の強化)**

知財金融ポータルサイト

文字サイズ 小 中 大  
 Google カスタム検索

金融機関のための

取引先/新規先からもっと信頼され、  
頼られるための知財活用型事業性評価の手法満載！

**取引先の強み・こだわりをもっと知り、成長にむけた提案をしましょう！**

中小企業の事業について知財の観点から  
評価・成長支援提案をする金融機能促進事業  
中小企業も取引金融機関に本事業を活用いただけてください！

評価に  
かかる費用  
無料

本年度の公募情報を掲載しました！  
7/1(月) 申込受付開始！  
▶こちらをクリック

知財金融とは？

知財ビジネス評価書・提案書

イベント情報 NEW

参考資料・刊行物

公募情報

サイトの概要・お問い合わせ

(参考) 旧事業

更新情報



知財ビジネス評価書等のサンプル、支援を活用した金融機関の事例等は、「知財金融ポータル」で公開しております。  
イベント情報等も随時更新しておりますので、ぜひご覧ください。

詳細は

**知財金融ポータル**



で検索！



## 公募概要

### ■ 令和元年度公募概要

<b>公募要領・応募方法の概要</b>	本事業の公募には、 「①知財を切り口とした事業性評価コース」 「②知財を切り口とした本業支援コース」 「③オーダーメイドコース」 「④地域金融機関ベンチャーキャピタル枠」 があります。概要は公募説明会資料をご確認ください。 なお、採択予定件数に達し次第終了とさせていただきますので、ご注意ください。	・知財金融促進事業の紹介 (1.1MB) ・公募要領・申込方法について (1.2MB) ・別紙 調査会社について (139KB)
<b>①知財を切り口とした事業性評価コース</b>	知財ビジネス評価書の取得・活用や、事業評価シート・J-PlatPatを活用することで、知財を切り口にする取引先の事業上の強みや特徴等についてどのようなことを把握することが出来るのか、知財ビジネス評価書を通じて得られた情報が事業性評価にどのようにして活用することが出来るのか等について、各金融機関の皆様にご検討を頂くことを意図しています。  <概要>・・・詳細は公募要領をご参照ください ・権利保有版（特許権、実用新案権、意匠権、商標権のいずれかを有する企業を対象）と権利非保有版（特許権、実用新案権、意匠権、商標権のいずれかもある企業を対象）に評価書を作成 ・「サポートなし」と「サポートあり（伴走）」があります。また、「サポートあり（伴走）」は「導入タイプ」と「組織展開タイプ」があります。 ・無料で評価書を作成・提供 ※ サンプルは右欄にありますのでご参照ください。各ファイルの先頭の記号は、調査会社の記号を示しています。	● サポートなし 公募要領  (603KB) 申込書  (35KB) ● サポートあり 公募要領  (627KB) 申込書  (52KB)
		知財ビジネス評価書サンプル ・ A 評価書  (10.0MB) ・ B 評価書  (320KB) ・ C 評価書  (868KB) ・ D 評価書-遊覧書  (374MB) ・ E 評価書-特許マップ版  (1.5MB)

ご清聴ありがとうございました。

